

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590029001	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (G1~G3_L(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1?G3_L(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	上記E-mailアドレスで連絡・質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ピエールとユーゴー」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。パリに住むピエールとユーゴーは中学3年生。ヴァカンスを利用して、ユーゴーのおばさんが住む南フランスの村に行きます。2人の少年とともに田舎の空気を味わいながら、列車の乗り方、ホテルの予約の仕方、カフェ、レストランで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またパリの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p> <p>「フランス語を楽しく学びたい」という皆さんのためのDVD付きの教科書です。映像を見ながら楽しく学びましょう。</p> <p>また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>?フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。</p> <p>?フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。</p> <p>?英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。</p> <p>?基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。</p> <p>?国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。</p> <p>?日本について簡単に説明できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。 意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。
キーワード/Keywords	フランス語?T
教科書・教材・参考書/Materials	「ピエールとユーゴー」（白水社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	（先輩のメッセージ） 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学んで絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう
第3回	「僕たちは親友なんだ！」（1） 1）「誰々は」を言ってみよう 2）リエゾンって何？ 3）数を数えよう
第4回	「僕たちは親友なんだ！」（2） 1）「?です」を学ぼう 2）「?人」を覚えよう 3）「高校生」「大学生」
第5回	「僕たちは親友なんだ！」（3） 1）自己紹介をする 2）ペアレッスンで話してみよう 3）「?です」の小テスト
第6回	Civilisation 1）パリってどんなところ？ 2）フランスの地方を知ろう 3）列車の切符を買ってみよう
第7回	「これは何？」（1） 1）男性名詞と女性名詞って何？ 2）名詞の複数形を書いてみよう 3）練習問題を解こう
第8回	「これは何？」（2） 1）「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2）「持っている」を学ぼう 3）持っているものを言ってみよう
第9回	「これは何？」（3） 1）大きい、小さい、形容詞を学ぶ 2）旅行には何が必要？ 3）兄弟がいる、ペットを飼ってるの表現を学ぶ

第10回	Civilisation 1) フランスの歴史を知る 2) カフェってどんなところ? 3) カフェで注文してみよう
第11回	「切符がない」(1) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 「?が好き」を学ぼう 3) 何が好き?ペアレッスン
第12回	「切符がない」(2) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 「探す」を学ぼう 3) 「好き」の小テスト
第13回	「切符がない」(3) 1) 否定文を作る 2) 練習問題を解いてみよう 3) フランス語の聞き取りをしよう
第14回	「切符がない」(4) 1) 冠詞の違いを知る 2) 数字を覚える 3) チャットをしてみよう
第15回	フランス人へメールを書く 1) 自己紹介を書いてみよう 2) フランス人へのメールを書く
第16回	8月7日: 統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590029002	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (L(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ピエールとユーゴー」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。パリに住むピエールとユーゴーは中学3年生。ヴァカンスを利用して、ユーゴーのおばさんが住む南フランスの村に行きます。2人の少年とともに田舎の空気を味わいながら、列車の乗り方、ホテルの予約の仕方、カフェ、レストランで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またパリの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的側面にも触れることをねらいとします。</p> <p>「フランス語を楽しく学びたい」という皆さんのためのDVD付きの教科書です。映像を見ながら楽しく学びましょう。</p> <p>また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>?フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。</p> <p>?フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。</p> <p>?英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。</p> <p>?基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。</p> <p>?国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。</p> <p>?日本について簡単に説明できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。 意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。
キーワード/Keywords	フランス語?T
教科書・教材・参考書/Materials	「ピエールとユーゴー」（白水社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	（先輩のメッセージ） 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学んで絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう
第3回	「僕たちは親友なんだ！」（1） 1）「誰々は」を言ってみよう 2）リエゾンって何？ 3）数を数えよう
第4回	「僕たちは親友なんだ！」（2） 1）「?です」を学ぼう 2）「?人」を覚えよう 3）「高校生」「大学生」
第5回	「僕たちは親友なんだ！」（3） 1）自己紹介をする 2）ペアレッスンで話してみよう 3）「?です」の小テスト
第6回	Civilisation 1）パリってどんなところ？ 2）フランスの地方を知ろう 3）列車の切符を買ってみよう
第7回	「これは何？」（1） 1）男性名詞と女性名詞って何？ 2）名詞の複数形を書いてみよう 3）練習問題を解こう
第8回	「これは何？」（2） 1）「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2）「持っている」を学ぼう 3）持っているものを言ってみよう
第9回	「これは何？」（3） 1）大きい、小さい、形容詞を学ぶ 2）旅行には何が必要？ 3）兄弟がいる、ペットを飼ってるの表現を学ぶ

第10回	Civilisation 1) フランスの歴史を知る 2) カフェってどんなところ? 3) カフェで注文してみよう
第11回	「切符がない」(1) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 「?が好き」を学ぼう 3) 何が好き?ペアレッスン
第12回	「切符がない」(2) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 「探す」を学ぼう 3) 「好き」の小テスト
第13回	「切符がない」(3) 1) 否定文を作る 2) 練習問題を解いてみよう 3) フランス語の聞き取りをしよう
第14回	「切符がない」(4) 1) 冠詞の違いを知る 2) 数字を覚える 3) チャットをしてみよう
第15回	フランス人へメールを書く 1) 自己紹介を書いてみよう 2) フランス人へのメールを書く
第16回	8月7日: 統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590029003	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (E(仏1)_P1・P2_T(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(仏1)_P1・P2_T(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ピエールとユーゴー」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。パリに住むピエールとユーゴーは中学3年生。ヴァカンスを利用して、ユーゴーのおばさんが住む南フランスの村に行きます。2人の少年とともに田舎の空気を味わいながら、列車の乗り方、ホテルの予約の仕方、カフェ、レストランで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またパリの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p> <p>「フランス語を楽しく学びたい」という皆さんのためのDVD付きの教科書です。映像を見ながら楽しく学びましょう。</p> <p>また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>?フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。</p> <p>?フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。</p> <p>?英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。</p> <p>?基本動詞 être 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。</p> <p>?国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。</p> <p>?日本について簡単に説明できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。 意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。
キーワード/Keywords	フランス語?T
教科書・教材・参考書/Materials	「ピエールとユーゴー」（白水社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	（先輩のメッセージ） 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう
第3回	「僕たちは親友なんだ！」（1） 1）「誰々は」を言ってみよう 2）リエゾンって何？ 3）数を数えよう
第4回	「僕たちは親友なんだ！」（2） 1）「?です」を学ぼう 2）「?人」を覚えよう 3）「高校生」「大学生」
第5回	「僕たちは親友なんだ！」（3） 1）自己紹介をする 2）ペアレッスンで話してみよう 3）「?です」の小テスト
第6回	Civilisation 1）パリってどんなところ？ 2）フランスの地方を知ろう 3）列車の切符を買ってみよう
第7回	「これは何？」（1） 1）男性名詞と女性名詞って何？ 2）名詞の複数形を書いてみよう 3）練習問題を解こう
第8回	「これは何？」（2） 1）「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2）「持っている」を学ぼう 3）持っているものを言ってみよう
第9回	「これは何？」（3） 1）大きい、小さい、形容詞を学ぶ 2）旅行には何が必要？ 3）兄弟がいる、ペットを飼ってるの表現を学ぶ

第10回	Civilisation 1) フランスの歴史を知る 2) カフェってどんなところ? 3) カフェで注文してみよう
第11回	「切符がない」(1) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 「?が好き」を学ぼう 3) 何が好き?ペアレッスン
第12回	「切符がない」(2) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 「探す」を学ぼう 3) 「好き」の小テスト
第13回	「切符がない」(3) 1) 否定文を作る 2) 練習問題を解いてみよう 3) フランス語の聞き取りをしよう
第14回	「切符がない」(4) 1) 冠詞の違いを知る 2) 数字を覚える 3) チャットをしてみよう
第15回	フランス人へメールを書く 1) 自己紹介を書いてみよう 2) フランス人へのメールを書く
第16回	8月7日: 統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590029004	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (T(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	上記E-mailアドレスで連絡・質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ピエールとユーゴー」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。パリに住むピエールとユーゴーは中学3年生。ヴァカンスを利用して、ユーゴーのおばさんが住む南フランスの村に行きます。2人の少年とともに田舎の空気を味わいながら、列車の乗り方、ホテルの予約の仕方、カフェ、レストランで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またパリの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的側面にも触れることをねらいとします。</p> <p>「フランス語を楽しく学びたい」という皆さんのためのDVD付きの教科書です。映像を見ながら楽しく学びましょう。</p> <p>また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>?フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。</p> <p>?フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。</p> <p>?英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。</p> <p>?基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。</p> <p>?国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。</p> <p>?日本について簡単に説明できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。 意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。
キーワード/Keywords	フランス語?T
教科書・教材・参考書/Materials	「ピエールとユーゴー」（白水社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	（先輩のメッセージ） 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう
第3回	「僕たちは親友なんだ！」（1） 1）「誰々は」を言ってみよう 2）リエゾンって何？ 3）数を数えよう
第4回	「僕たちは親友なんだ！」（2） 1）「?です」を学ぼう 2）「?人」を覚えよう 3）「高校生」「大学生」
第5回	「僕たちは親友なんだ！」（3） 1）自己紹介をする 2）ペアレッスンで話してみよう 3）「?です」の小テスト
第6回	Civilisation 1）パリってどんなところ？ 2）フランスの地方を知ろう 3）列車の切符を買ってみよう
第7回	「これは何？」（1） 1）男性名詞と女性名詞って何？ 2）名詞の複数形を書いてみよう 3）練習問題を解こう
第8回	「これは何？」（2） 1）「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2）「持っている」を学ぼう 3）持っているものを言ってみよう
第9回	「これは何？」（3） 1）大きい、小さい、形容詞を学ぶ 2）旅行には何が必要？ 3）兄弟がいる、ペットを飼ってるの表現を学ぶ

第10回	Civilisation 1) フランスの歴史を知る 2) カフェってどんなところ? 3) カフェで注文してみよう
第11回	「切符がない」(1) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 「?が好き」を学ぼう 3) 何が好き?ペアレッスン
第12回	「切符がない」(2) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 「探す」を学ぼう 3) 「好き」の小テスト
第13回	「切符がない」(3) 1) 否定文を作る 2) 練習問題を解いてみよう 3) フランス語の聞き取りをしよう
第14回	「切符がない」(4) 1) 冠詞の違いを知る 2) 数字を覚える 3) チャットをしてみよう
第15回	フランス人へメールを書く 1) 自己紹介を書いてみよう 2) フランス人へのメールを書く
第16回	8月7日: 統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590029005	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (E(仏2)_F1~F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(仏2)_F1?F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ピエールとユーゴー」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。パリに住むピエールとユーゴーは中学3年生。ヴァカンスを利用して、ユーゴーのおばさんが住む南フランスの村に行きます。2人の少年とともに田舎の空気を味わいながら、列車の乗り方、ホテルの予約の仕方、カフェ、レストランで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またパリの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p> <p>「フランス語を楽しく学びたい」という皆さんのためのDVD付きの教科書です。映像を見ながら楽しく学びましょう。</p> <p>また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>?フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。</p> <p>?フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。</p> <p>?英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。</p> <p>?基本動詞 être 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。</p> <p>?国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。</p> <p>?日本について簡単に説明できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。 意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。
キーワード/Keywords	フランス語?T
教科書・教材・参考書/Materials	「ピエールとユーゴー」（白水社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイズ仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	（先輩のメッセージ） 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう
第3回	「僕たちは親友なんだ！」（1） 1）「誰々は」を言ってみよう 2）リエゾンって何？ 3）数を数えよう
第4回	「僕たちは親友なんだ！」（2） 1）「?です」を学ぼう 2）「?人」を覚えよう 3）「高校生」「大学生」
第5回	「僕たちは親友なんだ！」（3） 1）自己紹介をする 2）ペアレッスンで話してみよう 3）「?です」の小テスト
第6回	Civilisation 1）パリってどんなところ？ 2）フランスの地方を知ろう 3）列車の切符を買ってみよう
第7回	「これは何？」（1） 1）男性名詞と女性名詞って何？ 2）名詞の複数形を書いてみよう 3）練習問題を解こう
第8回	「これは何？」（2） 1）「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2）「持っている」を学ぼう 3）持っているものを言ってみよう
第9回	「これは何？」（3） 1）大きい、小さい、形容詞を学ぶ 2）旅行には何が必要？ 3）兄弟がいる、ペットを飼ってるの表現を学ぶ

第10回	Civilisation 1) フランスの歴史を知る 2) カフェってどんなところ? 3) カフェで注文してみよう
第11回	「切符がない」(1) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 「?が好き」を学ぼう 3) 何が好き?ペアレッスン
第12回	「切符がない」(2) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 「探す」を学ぼう 3) 「好き」の小テスト
第13回	「切符がない」(3) 1) 否定文を作る 2) 練習問題を解いてみよう 3) フランス語の聞き取りをしよう
第14回	「切符がない」(4) 1) 冠詞の違いを知る 2) 数字を覚える 3) チャットをしてみよう
第15回	フランス人へメールを書く 1) 自己紹介を書いてみよう 2) フランス人へのメールを書く
第16回	8月7日: 統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590029006	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M4~M6_D1・D2_K(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4?M6_D1・D2_K(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ピエールとユーゴー」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。パリに住むピエールとユーゴーは中学3年生。ヴァカンスを利用して、ユーゴーのおばさんが住む南フランスの村に行きます。2人の少年とともに田舎の空気を味わいながら、列車の乗り方、ホテルの予約の仕方、カフェ、レストランで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またパリの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p> <p>「フランス語を楽しく学びたい」という皆さんのためのDVD付きの教科書です。映像を見ながら楽しく学びましょう。</p> <p>また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>?フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。</p> <p>?フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。</p> <p>?英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。</p> <p>?基本動詞 être 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。</p> <p>?国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。</p> <p>?日本について簡単に説明できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。 意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。
キーワード/Keywords	フランス語?T
教科書・教材・参考書/Materials	「ピエールとユーゴー」（白水社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイズ仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	（先輩のメッセージ） 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう
第3回	「僕たちは親友なんだ！」（1） 1）「誰々は」を言ってみよう 2）リエゾンって何？ 3）数を数えよう
第4回	「僕たちは親友なんだ！」（2） 1）「?です」を学ぼう 2）「?人」を覚えよう 3）「高校生」「大学生」
第5回	「僕たちは親友なんだ！」（3） 1）自己紹介をする 2）ペアレッスンで話してみよう 3）「?です」の小テスト
第6回	Civilisation 1）パリってどんなところ？ 2）フランスの地方を知ろう 3）列車の切符を買ってみよう
第7回	「これは何？」（1） 1）男性名詞と女性名詞って何？ 2）名詞の複数形を書いてみよう 3）練習問題を解こう
第8回	「これは何？」（2） 1）「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2）「持っている」を学ぼう 3）持っているものを言ってみよう
第9回	「これは何？」（3） 1）大きい、小さい、形容詞を学ぶ 2）旅行には何が必要？ 3）兄弟がいる、ペットを飼ってるの表現を学ぶ

第10回	Civilisation 1) フランスの歴史を知る 2) カフェってどんなところ? 3) カフェで注文してみよう
第11回	「切符がない」(1) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 「?を好き」を学ぼう 3) 何が好き?ペアレッスン
第12回	「切符がない」(2) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 「探す」を学ぼう 3) 「好き」の小テスト
第13回	「切符がない」(3) 1) 否定文を作る 2) 練習問題を解いてみよう 3) フランス語の聞き取りをしよう
第14回	「切符がない」(4) 1) 冠詞の違いを知る 2) 数字を覚える 3) チャットをしてみよう
第15回	フランス人へメールを書く 1) 自己紹介を書いてみよう 2) フランス人へのメールを書く
第16回	8月7日: 統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590029007	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M1~M3_K(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1?M3_K(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ピエールとユーゴー」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。パリに住むピエールとユーゴーは中学3年生。ヴァカンスを利用して、ユーゴーのおばさんが住む南フランスの村に行きます。2人の少年とともに田舎の空気を味わいながら、列車の乗り方、ホテルの予約の仕方、カフェ、レストランで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またパリの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的側面にも触れることをねらいとします。</p> <p>「フランス語を楽しく学びたい」という皆さんのためのDVD付きの教科書です。映像を見ながら楽しく学びましょう。</p> <p>また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>?フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。</p> <p>?フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。</p> <p>?英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。</p> <p>?基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。</p> <p>?国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。</p> <p>?日本について簡単に説明できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。 意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。
キーワード/Keywords	フランス語?T
教科書・教材・参考書/Materials	「ピエールとユーゴー」（白水社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイズ仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	（先輩のメッセージ） 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学んで絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう
第3回	「僕たちは親友なんだ！」（1） 1）「誰々は」を言ってみよう 2）リエゾンって何？ 3）数を数えよう
第4回	「僕たちは親友なんだ！」（2） 1）「?です」を学ぼう 2）「?人」を覚えよう 3）「高校生」「大学生」
第5回	「僕たちは親友なんだ！」（3） 1）自己紹介をする 2）ペアレッスンで話してみよう 3）「?です」の小テスト
第6回	Civilisation 1）パリってどんなところ？ 2）フランスの地方を知ろう 3）列車の切符を買ってみよう
第7回	「これは何？」（1） 1）男性名詞と女性名詞って何？ 2）名詞の複数形を書いてみよう 3）練習問題を解こう
第8回	「これは何？」（2） 1）「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2）「持っている」を学ぼう 3）持っているものを言ってみよう
第9回	「これは何？」（3） 1）大きい、小さい、形容詞を学ぶ 2）旅行には何が必要？ 3）兄弟がいる、ペットを飼ってるの表現を学ぶ

第10回	Civilisation 1) フランスの歴史を知る 2) カフェってどんなところ? 3) カフェで注文してみよう
第11回	「切符がない」(1) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 「?が好き」を学ぼう 3) 何が好き?ペアレッスン
第12回	「切符がない」(2) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 「探す」を学ぼう 3) 「好き」の小テスト
第13回	「切符がない」(3) 1) 否定文を作る 2) 練習問題を解いてみよう 3) フランス語の聞き取りをしよう
第14回	「切符がない」(4) 1) 冠詞の違いを知る 2) 数字を覚える 3) チャットをしてみよう
第15回	フランス人へメールを書く 1) 自己紹介を書いてみよう 2) フランス人へのメールを書く
第16回	8月7日: 統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590031001	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (L(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	上記E-mailアドレスで連絡・質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスの映画を通してフランスと日本の文化の違いをも考えていきます。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	? 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 ? 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 ? フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 ? 簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。		
キーワード / Keywords	フランス語?U		
教科書・教材・参考書 / Materials	「ピエールとユーゴ?」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「この列車は直通だ！」（1） 1）「この」「あの」を学ぶ 2）「?する」を言ってみよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「この列車は直通だ！」（2） 1）強勢形って何？ 2）強勢形を使ってみよう 3）「?する」の小テスト
第3回	「この列車は直通だ！」（3） 1）「降りる」の動詞を学ぶ 2）「私たち」の表現 3）フランス語を聞き取る
第4回	Civilisation 1）フランスは小学生から留年がある？ 2）フランスの大学生活 3）自分の大学生活をフランス語で話してみよう
第5回	「パリから着ました」（1） 1）「?へ行く」の動詞を学ぶ 2）前置詞を学ぶ 3）ペアレッスン
第6回	「パリから着ました」（2） 1）「?から来る」の動詞を学ぶ 2）元気ですか？ 3）練習問題を解く
第7回	「パリから着ました」（3） 1）疑問文の作りかた 2）命令形を作ってみよう 3）フランス語を聞き取る
第8回	「君たち何歳なの？」（1） 1）「どの」「どんな」を学ぶ 2）年齢を聞いて答えよう 3）ペアレッスン
第9回	「君たち何歳なの？」（2） 1）「誰々の」を覚えよう 2）練習問題を解く 3）1?10まで覚えよう
第10回	「君たち何歳なの？」（3） 1）10?20まで覚えよう 2）数字を聞き取る 3）ペアレッスン
第11回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（1） 1）食べ物、飲み物の単語を覚える 2）食べ物、飲み物につく冠詞って何？ 3）「?が欲しい」の動詞を学ぶ
第12回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（2） 1）「選ぶ」の動詞を学ぶ 2）欲しいもの何？ 3）ペアレッスン

第13回	<p>「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」(3)</p> <p>1) カフェ、レストランで注文しよう</p> <p>2) 暑い、寒いの表現を知る</p> <p>3) 練習問題を解く</p>
第14回	<p>フランス語でパワーポイントを作ろう(1)</p> <p>1) 写真入りで自己紹介の文章を書こう</p> <p>2) 写真入りで自分の好きなものを紹介しよう</p>
第15回	<p>フランス語でパワーポイントを作ろう(2)</p> <p>1) 写真入りで自分の街を紹介しよう</p> <p>2) 写真入りで日本のお正月を紹介しよう</p>
第16回	2月5日：統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590031002	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (E(仏1)_P1・P2_T(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(仏1)_P1・P2_T(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスの映画を通してフランスと日本の文化の違いをも考えていきます。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	? 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 ? 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 ? フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 ? 簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自己学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。		
キーワード / Keywords	フランス語?U		
教科書・教材・参考書 / Materials	「ピエールとユーゴ?」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「この列車は直通だ！」（1） 1）「この」「あの」を学ぶ 2）「?する」を言ってみよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「この列車は直通だ！」（2） 1）強勢形って何？ 2）強勢形を使ってみよう 3）「?する」の小テスト
第3回	「この列車は直通だ！」（3） 1）「降りる」の動詞を学ぶ 2）「私たち」の表現 3）フランス語を聞き取る
第4回	Civilisation 1）フランスは小学生から留年がある？ 2）フランスの大学生活 3）自分の大学生活をフランス語で話してみよう
第5回	「パリから着ました」（1） 1）「?へ行く」の動詞を学ぶ 2）前置詞を学ぶ 3）ペアレッスン
第6回	「パリから着ました」（2） 1）「?から来る」の動詞を学ぶ 2）元気ですか？ 3）練習問題を解く
第7回	「パリから着ました」（3） 1）疑問文の作りかた 2）命令形を作ってみよう 3）フランス語を聞き取る
第8回	「君たち何歳なの？」（1） 1）「どの」「どんな」を学ぶ 2）年齢を聞いて答えよう 3）ペアレッスン
第9回	「君たち何歳なの？」（2） 1）「誰々の」を覚えよう 2）練習問題を解く 3）1?10まで覚えよう
第10回	「君たち何歳なの？」（3） 1）10?20まで覚えよう 2）数字を聞き取る 3）ペアレッスン
第11回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（1） 1）食べ物、飲み物の単語を覚える 2）食べ物、飲み物につく冠詞って何？ 3）「?が欲しい」の動詞を学ぶ
第12回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（2） 1）「選ぶ」の動詞を学ぶ 2）欲しいもの何？ 3）ペアレッスン

第13回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」(3) 1) カフェ、レストランで注文しよう 2) 暑い、寒いの表現を知る 3) 練習問題を解く
第14回	フランス語でパワーポイントを作ろう(1) 1) 写真入りで自己紹介の文章を書こう 2) 写真入りで自分の好きなものを紹介しよう
第15回	フランス語でパワーポイントを作ろう(2) 1) 写真入りで自分の街を紹介しよう 2) 写真入りで日本のお正月を紹介しよう
第16回	2月5日：統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590031003	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (T(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスの映画を通してフランスと日本の文化の違いをも考えていきます。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	? 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 ? 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 ? フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 ? 簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。		
キーワード / Keywords	フランス語?U		
教科書・教材・参考書 / Materials	「ピエールとユーゴ?」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「この列車は直通だ！」（1） 1）「この」「あの」を学ぶ 2）「?する」を言ってみよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「この列車は直通だ！」（2） 1）強勢形って何？ 2）強勢形を使ってみよう 3）「?する」の小テスト
第3回	「この列車は直通だ！」（3） 1）「降りる」の動詞を学ぶ 2）「私たち」の表現 3）フランス語を聞き取る
第4回	Civilisation 1）フランスは小学生から留年がある？ 2）フランスの大学生活 3）自分の大学生活をフランス語で話してみよう
第5回	「パリから着ました」（1） 1）「?へ行く」の動詞を学ぶ 2）前置詞を学ぶ 3）ペアレッスン
第6回	「パリから着ました」（2） 1）「?から来る」の動詞を学ぶ 2）元気ですか？ 3）練習問題を解く
第7回	「パリから着ました」（3） 1）疑問文の作りかた 2）命令形を作ってみよう 3）フランス語を聞き取る
第8回	「君たち何歳なの？」（1） 1）「どの」「どんな」を学ぶ 2）年齢を聞いて答えよう 3）ペアレッスン
第9回	「君たち何歳なの？」（2） 1）「誰々の」を覚えよう 2）練習問題を解く 3）1?10まで覚えよう
第10回	「君たち何歳なの？」（3） 1）10?20まで覚えよう 2）数字を聞き取る 3）ペアレッスン
第11回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（1） 1）食べ物、飲み物の単語を覚える 2）食べ物、飲み物につく冠詞って何？ 3）「?が欲しい」の動詞を学ぶ
第12回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（2） 1）「選ぶ」の動詞を学ぶ 2）欲しいもの何？ 3）ペアレッスン

第13回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」(3) 1) カフェ、レストランで注文しよう 2) 暑い、寒いの表現を知る 3) 練習問題を解く
第14回	フランス語でパワーポイントを作ろう(1) 1) 写真入りで自己紹介の文章を書こう 2) 写真入りで自分の好きなものを紹介しよう
第15回	フランス語でパワーポイントを作ろう(2) 1) 写真入りで自分の街を紹介しよう 2) 写真入りで日本のお正月を紹介しよう
第16回	2月5日：統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590031004	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (E(仏2)_F1~F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(仏2)_F1?F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスの映画を通してフランスと日本の文化の違いをも考えていきます。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	? 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 ? 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 ? フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 ? 簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自己学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。		
キーワード / Keywords	フランス語?U		
教科書・教材・参考書 / Materials	「ピエールとユーゴ?」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイズ仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「この列車は直通だ！」（1） 1）「この」「あの」を学ぶ 2）「?する」を言ってみよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「この列車は直通だ！」（2） 1）強勢形って何？ 2）強勢形を使ってみよう 3）「?する」の小テスト
第3回	「この列車は直通だ！」（3） 1）「降りる」の動詞を学ぶ 2）「私たち」の表現 3）フランス語を聞き取る
第4回	Civilisation 1）フランスは小学生から留年がある？ 2）フランスの大学生活 3）自分の大学生活をフランス語で話してみよう
第5回	「パリから着ました」（1） 1）「?へ行く」の動詞を学ぶ 2）前置詞を学ぶ 3）ペアレッスン
第6回	「パリから着ました」（2） 1）「?から来る」の動詞を学ぶ 2）元気ですか？ 3）練習問題を解く
第7回	「パリから着ました」（3） 1）疑問文の作りかた 2）命令形を作ってみよう 3）フランス語を聞き取る
第8回	「君たち何歳なの？」（1） 1）「どの」「どんな」を学ぶ 2）年齢を聞いて答えよう 3）ペアレッスン
第9回	「君たち何歳なの？」（2） 1）「誰々の」を覚えよう 2）練習問題を解く 3）1?10まで覚えよう
第10回	「君たち何歳なの？」（3） 1）10?20まで覚えよう 2）数字を聞き取る 3）ペアレッスン
第11回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（1） 1）食べ物、飲み物の単語を覚える 2）食べ物、飲み物につく冠詞って何？ 3）「?が欲しい」の動詞を学ぶ
第12回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（2） 1）「選ぶ」の動詞を学ぶ 2）欲しいもの何？ 3）ペアレッスン

第13回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」(3) 1) カフェ、レストランで注文しよう 2) 暑い、寒いの表現を知る 3) 練習問題を解く
第14回	フランス語でパワーポイントを作ろう(1) 1) 写真入りで自己紹介の文章を書こう 2) 写真入りで自分の好きなものを紹介しよう
第15回	フランス語でパワーポイントを作ろう(2) 1) 写真入りで自分の街を紹介しよう 2) 写真入りで日本のお正月を紹介しよう
第16回	2月5日：統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590031005	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (G1~G3_L(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1?G3_L(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスの映画を通してフランスと日本の文化の違いをも考えていきます。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	?「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 ?形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 ?フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 ?簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自己学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。		
キーワード / Keywords	フランス語?U		
教科書・教材・参考書 / Materials	「ピエールとユーゴ?」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「この列車は直通だ！」（1） 1）「この」「あの」を学ぶ 2）「?する」を言ってみよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「この列車は直通だ！」（2） 1）強勢形って何？ 2）強勢形を使ってみよう 3）「?する」の小テスト
第3回	「この列車は直通だ！」（3） 1）「降りる」の動詞を学ぶ 2）「私たち」の表現 3）フランス語を聞き取る
第4回	Civilisation 1）フランスは小学生から留年がある？ 2）フランスの大学生活 3）自分の大学生活をフランス語で話してみよう
第5回	「パリから着ました」（1） 1）「?へ行く」の動詞を学ぶ 2）前置詞を学ぶ 3）ペアレッスン
第6回	「パリから着ました」（2） 1）「?から来る」の動詞を学ぶ 2）元気ですか？ 3）練習問題を解く
第7回	「パリから着ました」（3） 1）疑問文の作りかた 2）命令形を作ってみよう 3）フランス語を聞き取る
第8回	「君たち何歳なの？」（1） 1）「どの」「どんな」を学ぶ 2）年齢を聞いて答えよう 3）ペアレッスン
第9回	「君たち何歳なの？」（2） 1）「誰々の」を覚えよう 2）練習問題を解く 3）1?10まで覚えよう
第10回	「君たち何歳なの？」（3） 1）10?20まで覚えよう 2）数字を聞き取る 3）ペアレッスン
第11回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（1） 1）食べ物、飲み物の単語を覚える 2）食べ物、飲み物につく冠詞って何？ 3）「?が欲しい」の動詞を学ぶ
第12回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（2） 1）「選ぶ」の動詞を学ぶ 2）欲しいもの何？ 3）ペアレッスン

第13回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」(3) 1) カフェ、レストランで注文しよう 2) 暑い、寒いの表現を知る 3) 練習問題を解く
第14回	フランス語でパワーポイントを作ろう(1) 1) 写真入りで自己紹介の文章を書こう 2) 写真入りで自分の好きなものを紹介しよう
第15回	フランス語でパワーポイントを作ろう(2) 1) 写真入りで自分の街を紹介しよう 2) 写真入りで日本のお正月を紹介しよう
第16回	2月5日：統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590031006	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M1~M3_K(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1?M3_K(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスの映画を通してフランスと日本の文化の違いをも考えていきます。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	?「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 ?形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 ?フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 ?簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自己学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。		
キーワード / Keywords	フランス語?U		
教科書・教材・参考書 / Materials	「ピエールとユーゴ?」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「この列車は直通だ！」（1） 1）「この」「あの」を学ぶ 2）「?する」を言ってみよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「この列車は直通だ！」（2） 1）強勢形って何？ 2）強勢形を使ってみよう 3）「?する」の小テスト
第3回	「この列車は直通だ！」（3） 1）「降りる」の動詞を学ぶ 2）「私たち」の表現 3）フランス語を聞き取る
第4回	Civilisation 1）フランスは小学生から留年がある？ 2）フランスの大学生活 3）自分の大学生活をフランス語で話してみよう
第5回	「パリから着ました」（1） 1）「?へ行く」の動詞を学ぶ 2）前置詞を学ぶ 3）ペアレッスン
第6回	「パリから着ました」（2） 1）「?から来る」の動詞を学ぶ 2）元気ですか？ 3）練習問題を解く
第7回	「パリから着ました」（3） 1）疑問文の作りかた 2）命令形を作ってみよう 3）フランス語を聞き取る
第8回	「君たち何歳なの？」（1） 1）「どの」「どんな」を学ぶ 2）年齢を聞いて答えよう 3）ペアレッスン
第9回	「君たち何歳なの？」（2） 1）「誰々の」を覚えよう 2）練習問題を解く 3）1?10まで覚えよう
第10回	「君たち何歳なの？」（3） 1）10?20まで覚えよう 2）数字を聞き取る 3）ペアレッスン
第11回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（1） 1）食べ物、飲み物の単語を覚える 2）食べ物、飲み物につく冠詞って何？ 3）「?が欲しい」の動詞を学ぶ
第12回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（2） 1）「選ぶ」の動詞を学ぶ 2）欲しいもの何？ 3）ペアレッスン

第13回	<p>「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」(3)</p> <p>1) カフェ、レストランで注文しよう</p> <p>2) 暑い、寒いの表現を知る</p> <p>3) 練習問題を解く</p>
第14回	<p>フランス語でパワーポイントを作ろう(1)</p> <p>1) 写真入りで自己紹介の文章を書こう</p> <p>2) 写真入りで自分の好きなものを紹介しよう</p>
第15回	<p>フランス語でパワーポイントを作ろう(2)</p> <p>1) 写真入りで自分の街を紹介しよう</p> <p>2) 写真入りで日本のお正月を紹介しよう</p>
第16回	2月5日：統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590031007	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M4~M6_D1・D2_K(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4?M6_D1・D2_K(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスの映画を通してフランスと日本の文化の違いをも考えていきます。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	? 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようになります。 ? 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 ? フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 ? 簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業中に、予習や復習について話します。		
キーワード / Keywords	フランス語?U		
教科書・教材・参考書 / Materials	「ピエールとユーゴ?」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「この列車は直通だ！」（1） 1）「この」「あの」を学ぶ 2）「?する」を言ってみよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「この列車は直通だ！」（2） 1）強勢形って何？ 2）強勢形を使ってみよう 3）「?する」の小テスト
第3回	「この列車は直通だ！」（3） 1）「降りる」の動詞を学ぶ 2）「私たち」の表現 3）フランス語を聞き取る
第4回	Civilisation 1）フランスは小学生から留年がある？ 2）フランスの大学生活 3）自分の大学生活をフランス語で話してみよう
第5回	「パリから着ました」（1） 1）「?へ行く」の動詞を学ぶ 2）前置詞を学ぶ 3）ペアレッスン
第6回	「パリから着ました」（2） 1）「?から来る」の動詞を学ぶ 2）元気ですか？ 3）練習問題を解く
第7回	「パリから着ました」（3） 1）疑問文の作りかた 2）命令形を作ってみよう 3）フランス語を聞き取る
第8回	「君たち何歳なの？」（1） 1）「どの」「どんな」を学ぶ 2）年齢を聞いて答えよう 3）ペアレッスン
第9回	「君たち何歳なの？」（2） 1）「誰々の」を覚えよう 2）練習問題を解く 3）1?10まで覚えよう
第10回	「君たち何歳なの？」（3） 1）10?20まで覚えよう 2）数字を聞き取る 3）ペアレッスン
第11回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（1） 1）食べ物、飲み物の単語を覚える 2）食べ物、飲み物につく冠詞って何？ 3）「?が欲しい」の動詞を学ぶ
第12回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」（2） 1）「選ぶ」の動詞を学ぶ 2）欲しいもの何？ 3）ペアレッスン

第13回	<p>「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」(3)</p> <p>1) カフェ、レストランで注文しよう</p> <p>2) 暑い、寒いの表現を知る</p> <p>3) 練習問題を解く</p>
第14回	<p>フランス語でパワーポイントを作ろう(1)</p> <p>1) 写真入りで自己紹介の文章を書こう</p> <p>2) 写真入りで自分の好きなものを紹介しよう</p>
第15回	<p>フランス語でパワーポイントを作ろう(2)</p> <p>1) 写真入りで自分の街を紹介しよう</p> <p>2) 写真入りで日本のお正月を紹介しよう</p>
第16回	2月5日：統一試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590033001	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2T1~2T8) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T1?2T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomita tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は平成30年度フランス語?T, ?Uで使用した<パラレル>を継続使用します。フランスのホテルで働くタケシの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	1) 重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。 事後学習はネット上のfr@nce.goの練習問題をしてください。		
キーワード / Keywords	フランス語?V		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書: 「パラレル」(白水社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	1年生の時はよく頑張りました。2年生で、もっと勉強してフランス語を話せるようになりましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「この建築物は何？」(1) 1) ir 動詞を覚えよう 2) これは誰ですか？ 3) ペアレッスン	A B C D
第2回	「この建築物は何？」(2) 1) 形容詞の性を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第3回	「この建築物は何？」(3) 1) 形容詞の数を覚えよう 2) 兄弟姉妹はいる？ 3) 聞き取り練習	A B C D
第4回	「料理は何を選ぶ？」(1) 1) 「pouvoirとvouloir」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第5回	「料理は何を選ぶ？」(2) 1) 食べ物の単語を覚える 2) 部分冠詞を知ろう 3) 単語小テスト	A B C D
第6回	「料理は何を選ぶ？」(3) 1) 「prendreとmettre」を覚える 2) 否定のdeを知る 3) ペアレッスン	A B C
第7回	「彼女をよく知ってます」(1) 1) me, te, le 私を、君を、彼を知る。 2) 泳ぐことができます。 3) 練習問題	A B C D
第8回	「彼女をよく知ってます」(2) 1) me, te, lui 私に、君に彼を知る 2) 「?して」「?しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第9回	「彼女をよく知ってます」(3) 1) 年に1回など頻度を知る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第10回	「何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第11回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第12回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第13回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第14回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D

第15回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう	A B C D
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590033002	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2T9・2T10_2K1~2K3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T9・2T10_2K1?2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は平成30年度フランス語?T,?Uで使用した<パラレル>を継続使用します。フランスのホテルで働くタケシの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	1) 重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自己学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。 事後学習はネット上のfr@nce.goの練習問題をしてください。		
キーワード / Keywords	フランス語?V		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書:「パラレル」(白水社) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	1年生の時はよく頑張りました。2年生で、もっと勉強してフランス語を話せるようになりましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「この建築物は何？」(1) 1) ir 動詞を覚えよう 2) これは誰ですか？ 3) ペアレッスン	A B C D
第2回	「この建築物は何？」(2) 1) 形容詞の性を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第3回	「この建築物は何？」(3) 1) 形容詞の数を覚えよう 2) 兄弟姉妹はいる？ 3) 聞き取り練習	A B C D
第4回	「料理は何を選ぶ？」(1) 1) 「pouvoirとvouloir」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第5回	「料理は何を選ぶ？」(2) 1) 食べ物の単語を覚える 2) 部分冠詞を知ろう 3) 単語小テスト	A B C D
第6回	「料理は何を選ぶ？」(3) 1) 「prendreとmettre」を覚える 2) 否定のdeを知る 3) ペアレッスン	A B C
第7回	「彼女をよく知ってます」(1) 1) me, te, le 私を、君を、彼を知る。 2) 泳ぐことができます。 3) 練習問題	A B C D
第8回	「彼女をよく知ってます」(2) 1) me, te, lui 私に、君に彼を知る 2) 「?して」「?しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第9回	「彼女をよく知ってます」(3) 1) 年に1回など頻度を知る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第10回	「何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第11回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第12回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第13回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第14回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D

第15回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう	A B C D
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590033003	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2M1~2M3_2D1・2D2) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M1?2M3_2D1・2D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は平成30年度フランス語?T,?Uで使用した<パラレル>を継続使用します。フランスのホテルで働くタケシの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	1) 重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自己学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。 事後学習はネット上のfr@nce.goの練習問題をしてください。		
キーワード / Keywords	フランス語?V		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書:「パラレル」(白水社) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	1年生の時はよく頑張りました。2年生で、もっと勉強してフランス語を話せるようになりましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「この建築物は何？」(1) 1) ir 動詞を覚えよう 2) これは誰ですか？ 3) ペアレッスン	A B C D
第2回	「この建築物は何？」(2) 1) 形容詞の性を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第3回	「この建築物は何？」(3) 1) 形容詞の数を覚えよう 2) 兄弟姉妹はいる？ 3) 聞き取り練習	A B C D
第4回	「料理は何を選ぶ？」(1) 1) 「pouvoirとvouloir」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第5回	「料理は何を選ぶ？」(2) 1) 食べ物の単語を覚える 2) 部分冠詞を知ろう 3) 単語小テスト	A B C D
第6回	「料理は何を選ぶ？」(3) 1) 「prendreとmettre」を覚える 2) 否定のdeを知る 3) ペアレッスン	A B C
第7回	「彼女をよく知ってます」(1) 1) me, te, le 私を、君を、彼を知る。 2) 泳ぐことができます。 3) 練習問題	A B C D
第8回	「彼女をよく知ってます」(2) 1) me, te, lui 私に、君に彼を知る 2) 「?して」「?しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第9回	「彼女をよく知ってます」(3) 1) 年に1回など頻度を知る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第10回	「何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第11回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第12回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第13回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第14回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D

第15回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう	A B C D
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590033004	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2G1 ~ 2G3_2L1 ~ 2L3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2G1?2G3_2L1?2L3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は平成30年度フランス語?T,?Uで使用した<パラレル>を継続使用します。フランスのホテルで働くタケシの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	1) 重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自己学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。 事後学習はネット上のfr@nce.goの練習問題をしてください。		
キーワード / Keywords	フランス語?V		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書:「パラレル」(白水社) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	1年生の時はよく頑張りました。2年生で、もっと勉強してフランス語を話せるようになりましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「この建築物は何？」(1) 1) ir 動詞を覚えよう 2) これは誰ですか？ 3) ペアレッスン	A B C D
第2回	「この建築物は何？」(2) 1) 形容詞の性を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第3回	「この建築物は何？」(3) 1) 形容詞の数を覚えよう 2) 兄弟姉妹はいる？ 3) 聞き取り練習	A B C D
第4回	「料理は何を選ぶ？」(1) 1) 「pouvoirとvouloir」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第5回	「料理は何を選ぶ？」(2) 1) 食べ物の単語を覚える 2) 部分冠詞を知ろう 3) 単語小テスト	A B C D
第6回	「料理は何を選ぶ？」(3) 1) 「prendreとmettre」を覚える 2) 否定のdeを知る 3) ペアレッスン	A B C
第7回	「彼女をよく知ってます」(1) 1) me, te, le 私を、君を、彼を知る。 2) 泳ぐことができます。 3) 練習問題	A B C D
第8回	「彼女をよく知ってます」(2) 1) me, te, lui 私に、君に彼を知る 2) 「?して」「?しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第9回	「彼女をよく知ってます」(3) 1) 年に1回など頻度を知る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第10回	「何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第11回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第12回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第13回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第14回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D

第15回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう	A B C D
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590033005	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2E1 ~ 2E6) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E1?2E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	上記E-mailアドレスで連絡・質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は平成30年度フランス語?T, ?Uで使用した<パラレル>を継続使用します。フランスのホテルで働くタケシの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	1) 重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。 事後学習はネット上のfr@nce.goの練習問題をしてください。		
キーワード / Keywords	フランス語?V		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書: 「パラレル」(白水社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	1年生の時はよく頑張りました。2年生で、もっと勉強してフランス語を話せるようになりましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「この建築物は何？」(1) 1) ir 動詞を覚えよう 2) これは誰ですか？ 3) ペアレッスン	A B C D
第2回	「この建築物は何？」(2) 1) 形容詞の性を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第3回	「この建築物は何？」(3) 1) 形容詞の数を覚えよう 2) 兄弟姉妹はいる？ 3) 聞き取り練習	A B C D
第4回	「料理は何を選ぶ？」(1) 1) 「pouvoirとvouloir」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第5回	「料理は何を選ぶ？」(2) 1) 食べ物の単語を覚える 2) 部分冠詞を知ろう 3) 単語小テスト	A B C D
第6回	「料理は何を選ぶ？」(3) 1) 「prendreとmettre」を覚える 2) 否定のdeを知る 3) ペアレッスン	A B C
第7回	「彼女をよく知ってます」(1) 1) me, te, le 私を、君を、彼を知る。 2) 泳ぐことができます。 3) 練習問題	A B C D
第8回	「彼女をよく知ってます」(2) 1) me, te, lui 私に、君に彼を知る 2) 「?して」「?しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第9回	「彼女をよく知ってます」(3) 1) 年に1回など頻度を知る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第10回	「何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第11回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第12回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第13回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第14回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D

第15回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう	A B C D
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590033006	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2P1・2P2_2F1~2F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2P1・2P2_2F1?2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	上記E-mailアドレスで連絡・質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は平成30年度フランス語?T,?Uで使用した<パラレル>を継続使用します。フランスのホテルで働くタケシの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	1) 重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。 事後学習はネット上のfr@nce.goの練習問題をしてください。		
キーワード / Keywords	フランス語?V		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書: 「パラレル」(白水社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	1年生の時はよく頑張りました。2年生で、もっと勉強してフランス語を話せるようになりましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「この建築物は何？」(1) 1) ir 動詞を覚えよう 2) これは誰ですか？ 3) ペアレッスン	A B C D
第2回	「この建築物は何？」(2) 1) 形容詞の性を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第3回	「この建築物は何？」(3) 1) 形容詞の数を覚えよう 2) 兄弟姉妹はいる？ 3) 聞き取り練習	A B C D
第4回	「料理は何を選ぶ？」(1) 1) 「pouvoirとvouloir」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第5回	「料理は何を選ぶ？」(2) 1) 食べ物の単語を覚える 2) 部分冠詞を知ろう 3) 単語小テスト	A B C D
第6回	「料理は何を選ぶ？」(3) 1) 「prendreとmettre」を覚える 2) 否定のdeを知る 3) ペアレッスン	A B C
第7回	「彼女をよく知ってます」(1) 1) me, te, le 私を、君を、彼を知る。 2) 泳ぐことができます。 3) 練習問題	A B C D
第8回	「彼女をよく知ってます」(2) 1) me, te, lui 私に、君に彼を知る 2) 「?して」「?しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第9回	「彼女をよく知ってます」(3) 1) 年に1回など頻度を知る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第10回	「何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第11回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第12回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第13回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第14回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D

第15回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう	A B C D
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590035001	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2T1~2T8) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T1?2T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。具体的には 1) 動詞の過去時制を学んで、過去の行為や経験を表現できるようになります。 2) 「だれ」「なに」の疑問代名詞を使った質問をし、答えられるようになります。 3) 使用頻度の高い不規則動詞の活用を覚え、それらを使った文が作れるようになります。 4) 時間や天候などの日常生活に密着した表現が使えるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	語彙リストにある新出単語の意味と発音調べる。 練習問題の予習をする。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書「パラレル1」(白水社) 仏和辞典か電子辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「富士山は見ましたか？」(1) 1) スキットを読む 2) 複合過去 (...した) を知る 3) 過去分詞の形	A B C
第2回	「富士山は見ましたか？」(2) 1) 動詞を複合過去に活用させる練習 2) スキットについての質問に答える 3) 複合過去の文にする練習	A B C D
第3回	「富士山は見ましたか？」(3) 1) 過去の時間表現を覚える 2) 書き取り練習 3) 練習問題を解く	A B C D
第4回	「富士山は見ましたか？」(4) 1) 新出単語の確認 2) 複合過去を使ってペアでスキットを作る 3) 文化：フランス人と仕事	A B C D
第5回	復習テスト 「誰をさがしているのですか？」(1) 1) スキットを読む 2) 「・・・してくれませんか」(依頼)の表現 3) 「誰」「何」の疑問文	A B C D
第6回	「誰をさがしているのですか？」(2) 1) スキットについての質問に答える 2) 不規則動詞entendre(聞こえる)、attendre(待つ)、perdre(失う)、rendre(返す)、r?pondre(答える)の活用	A B C D
第7回	「誰をさがしているのですか？」(3) 1) 不規則動詞 dire(言う)、?crire(書く)、lire(読む)の活用 2) 書き取り練習 3) 練習問題を解く	A B C D
第8回	「誰をさがしているのですか？」(4) 1) 新出単語の確認 2) シャンソン Au claire de la luneを歌う 3) 文化：アペリティフ(食前酒)	A B C D
第9回	復習テスト 「日本では雪はたくさん降りますか？」(1) 1) スキットを読む 2) 不規則動詞 devoir (...しなければならない) 活用 3) 天候と時間の表し方	A B C D
第10回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(2) 1) 各地の天候を言う練習 2) 時間を言う練習 3) 形式上の主語ilを使うその他の表現	A B C D
第11回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(3) 1) スキットについての質問に答える 2) 天候について会話する 3) 書き取り練習	A B C D
第12回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(4) 1) 方角 2) 新出単語の確認 3) 課題：フランス語でメールを書く	A B C D

第13回	1) 課題：フランス語でメールを書く(続き・提出) 2) フランス映画を見る	A B C D
第14回	1) フランス映画を見る(続き) 2) 復習と試験対策(1)	A B C D
第15回	復習と試験対策(2)	A
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590035002	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2T9・2T10_2K1~2K3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T9・2T10_2K1?2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomita tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるというコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。具体的には 1) 動詞の過去時制を学んで、過去の行為や経験を表現できるようになります。 2) 「だれ」「なに」の疑問代名詞を使った質問をし、答えられるようになります。 3) 使用頻度の高い不規則動詞の活用を覚え、それらを使った文が作れるようになります。 4) 時間や天候などの日常生活に密着した表現が使えるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	語彙リストにある新出単語の意味と発音調べる。 練習問題の予習をする。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書「パラレル1」(白水社) 仏和辞典か電子辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「富士山は見ましたか？」(1) 1) スキットを読む 2) 複合過去 (...した) を知る 3) 過去分詞の形	A B C
第2回	「富士山は見ましたか？」(2) 1) 動詞を複合過去に活用させる練習 2) スキットについての質問に答える 3) 複合過去の文にする練習	A B C D
第3回	「富士山は見ましたか？」(3) 1) 過去の時間表現を覚える 2) 書き取り練習 3) 練習問題を解く	A B C D
第4回	「富士山は見ましたか？」(4) 1) 新出単語の確認 2) 複合過去を使ってペアでスキットを作る 3) 文化：フランス人と仕事	A B C D
第5回	復習テスト 「誰をさがしているのですか？」(1) 1) スキットを読む 2) 「・・・してくれませんか」(依頼)の表現 3) 「誰」「何」の疑問文	A B C D
第6回	「誰をさがしているのですか？」(2) 1) スキットについての質問に答える 2) 不規則動詞entendre(聞こえる)、attendre(待つ)、perdre(失う)、rendre(返す)、r?pondre(答える)の活用	A B C D
第7回	「誰をさがしているのですか？」(3) 1) 不規則動詞 dire(言う)、?crire(書く)、lire(読む)の活用 2) 書き取り練習 3) 練習問題を解く	A B C D
第8回	「誰をさがしているのですか？」(4) 1) 新出単語の確認 2) シャンソン Au claire de la luneを歌う 3) 文化：アペリティフ(食前酒)	A B C D
第9回	復習テスト 「日本では雪はたくさん降りますか？」(1) 1) スキットを読む 2) 不規則動詞 devoir (...しなければならない) 活用 3) 天候と時間の表し方	A B C D
第10回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(2) 1) 各地の天候を言う練習 2) 時間を言う練習 3) 形式上の主語ilを使うその他の表現	A B C D
第11回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(3) 1) スキットについての質問に答える 2) 天候について会話する 3) 書き取り練習	A B C D
第12回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(4) 1) 方角 2) 新出単語の確認 3) 課題：フランス語でメールを書く	A B C D

第13回	1) 課題：フランス語でメールを書く(続き・提出) 2) フランス映画を見る	A B C D
第14回	1) フランス映画を見る(続き) 2) 復習と試験対策(1)	A B C D
第15回	復習と試験対策(2)	A
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590035003	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2M1 ~ 2M3_2D1・2D2) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call12)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M1?2M3_2D1・2D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(132-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。具体的には 1) 動詞の過去時制を学んで、過去の行為や経験を表現できるようになります。 2) 「だれ」「なに」の疑問代名詞を使った質問をし、答えられるようになります。 3) 使用頻度の高い不規則動詞の活用を覚え、それらを使った文が作れるようになります。 4) 時間や天候などの日常生活に密着した表現が使えるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	語彙リストにある新出単語の意味と発音調べる。 練習問題の予習をする。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書「パラレル1」(白水社) 仏和辞典か電子辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「富士山は見ましたか？」(1) 1) スキットを読む 2) 複合過去 (...した) を知る 3) 過去分詞の形	A B C
第2回	「富士山は見ましたか？」(2) 1) 動詞を複合過去に活用させる練習 2) スキットについての質問に答える 3) 複合過去の文にする練習	A B C D
第3回	「富士山は見ましたか？」(3) 1) 過去の時間表現を覚える 2) 書き取り練習 3) 練習問題を解く	A B C D
第4回	「富士山は見ましたか？」(4) 1) 新出単語の確認 2) 複合過去を使ってペアでスキットを作る 3) 文化：フランス人と仕事	A B C D
第5回	復習テスト 「誰をさがしているのですか？」(1) 1) スキットを読む 2) 「・・・してくれませんか」(依頼)の表現 3) 「誰」「何」の疑問文	A B C D
第6回	「誰をさがしているのですか？」(2) 1) スキットについての質問に答える 2) 不規則動詞entendre(聞こえる)、attendre(待つ)、perdre(失う)、rendre(返す)、r?pondre(答える)の活用	A B C D
第7回	「誰をさがしているのですか？」(3) 1) 不規則動詞 dire(言う)、?crire(書く)、lire(読む)の活用 2) 書き取り練習 3) 練習問題を解く	A B C D
第8回	「誰をさがしているのですか？」(4) 1) 新出単語の確認 2) シャンソン Au claire de la luneを歌う 3) 文化：アペリティフ(食前酒)	A B C D
第9回	復習テスト 「日本では雪はたくさん降りますか？」(1) 1) スキットを読む 2) 不規則動詞 devoir(...しなければならない)活用 3) 天候と時間の表し方	A B C D
第10回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(2) 1) 各地の天候を言う練習 2) 時間を言う練習 3) 形式上の主語ilを使うその他の表現	A B C D
第11回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(3) 1) スキットについての質問に答える 2) 天候について会話する 3) 書き取り練習	A B C D
第12回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(4) 1) 方角 2) 新出単語の確認 3) 課題：フランス語でメールを書く	A B C D

第13回	1) 課題：フランス語でメールを書く(続き・提出) 2) フランス映画を見る	A B C D
第14回	1) フランス映画を見る(続き) 2) 復習と試験対策(1)	A B C D
第15回	復習と試験対策(2)	A
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590035004	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2G1~2G3_2L1~2L3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call12)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2G1?2G3_2L1?2L3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(132-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。具体的には 1) 動詞の過去時制を学んで、過去の行為や経験を表現できるようになります。 2) 「だれ」「なに」の疑問代名詞を使った質問をし、答えられるようになります。 3) 使用頻度の高い不規則動詞の活用を覚え、それらを使った文が作れるようになります。 4) 時間や天候などの日常生活に密着した表現が使えるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go(自己学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	語彙リストにある新出単語の意味と発音調べる。 練習問題の予習をする。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書「パラレル1」(白水社) 仏和辞典か電子辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「富士山は見ましたか？」（1） 1）スキットを読む 2）複合過去（...した）を知る 3）過去分詞の形	A B C
第2回	「富士山は見ましたか？」（2） 1）動詞を複合過去に活用させる練習 2）スキットについての質問に答える 3）複合過去の文にする練習	A B C D
第3回	「富士山は見ましたか？」（3） 1）過去の時間表現を覚える 2）書き取り練習 3）練習問題を解く	A B C D
第4回	「富士山は見ましたか？」（4） 1）新出単語の確認 2）複合過去を使ってペアでスキットを作る 3）文化：フランス人と仕事	A B C D
第5回	復習テスト 「誰をさがしているのですか？」（1） 1）スキットを読む 2）「・・・してくれませんか」（依頼）の表現 3）「誰」「何」の疑問文	A B C D
第6回	「誰をさがしているのですか？」（2） 1）スキットについての質問に答える 2）不規則動詞entendre（聞こえる）、attendre（待つ）、perdre（失う）、rendre（返す）、r?pondre（答える）の活用	A B C D
第7回	「誰をさがしているのですか？」（3） 1）不規則動詞 dire（言う）、?crire（書く）、lire（読む）の活用 2）書き取り練習 3）練習問題を解く	A B C D
第8回	「誰をさがしているのですか？」（4） 1）新出単語の確認 2）シャンソン Au claire de la luneを歌う 3）文化：アペリティフ（食前酒）	A B C D
第9回	復習テスト 「日本では雪はたくさん降りますか？」（1） 1）スキットを読む 2）不規則動詞 devoir（...しなければならない）活用 3）天候と時間の表し方	A B C D
第10回	「日本では雪はたくさん降りますか？」（2） 1）各地の天候を言う練習 2）時間を言う練習 3）形式上の主語ilを使うその他の表現	A B C D
第11回	「日本では雪はたくさん降りますか？」（3） 1）スキットについての質問に答える 2）天候について会話する 3）書き取り練習	A B C D
第12回	「日本では雪はたくさん降りますか？」（4） 1）方角 2）新出単語の確認 3）課題：フランス語でメールを書く	A B C D

第13回	1) 課題：フランス語でメールを書く(続き・提出) 2) フランス映画を見る	A B C D
第14回	1) フランス映画を見る(続き) 2) 復習と試験対策(1)	A B C D
第15回	復習と試験対策(2)	A
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590035005	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2E1~2E6) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E1?2E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	上記E-mailアドレスで連絡・質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。具体的には 1) 動詞の過去時制を学んで、過去の行為や経験を表現できるようになります。 2) 「だれ」「なに」の疑問代名詞を使った質問をし、答えられるようになります。 3) 使用頻度の高い不規則動詞の活用を覚え、それらを使った文が作れるようになります。 4) 時間や天候などの日常生活に密着した表現が使えるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	語彙リストにある新出単語の意味と発音調べる。 練習問題の予習をする。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書「パラレル1」(白水社) 仏和辞典か電子辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「富士山は見ましたか？」(1) 1) スキットを読む 2) 複合過去 (...した) を知る 3) 過去分詞の形	A B C
第2回	「富士山は見ましたか？」(2) 1) 動詞を複合過去に活用させる練習 2) スキットについての質問に答える 3) 複合過去の文にする練習	A B C D
第3回	「富士山は見ましたか？」(3) 1) 過去の時間表現を覚える 2) 書き取り練習 3) 練習問題を解く	A B C D
第4回	「富士山は見ましたか？」(4) 1) 新出単語の確認 2) 複合過去を使ってペアでスキットを作る 3) 文化：フランス人と仕事	A B C D
第5回	復習テスト 「誰をさがしているのですか？」(1) 1) スキットを読む 2) 「・・・してくれませんか」(依頼)の表現 3) 「誰」「何」の疑問文	A B C D
第6回	「誰をさがしているのですか？」(2) 1) スキットについての質問に答える 2) 不規則動詞entendre(聞こえる)、attendre(待つ)、perdre(失う)、rendre(返す)、r?pondre(答える)の活用	A B C D
第7回	「誰をさがしているのですか？」(3) 1) 不規則動詞 dire(言う)、?crire(書く)、lire(読む)の活用 2) 書き取り練習 3) 練習問題を解く	A B C D
第8回	「誰をさがしているのですか？」(4) 1) 新出単語の確認 2) シャンソン Au claire de la luneを歌う 3) 文化：アペリティフ(食前酒)	A B C D
第9回	復習テスト 「日本では雪はたくさん降りますか？」(1) 1) スキットを読む 2) 不規則動詞 devoir (...しなければならない) 活用 3) 天候と時間の表し方	A B C D
第10回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(2) 1) 各地の天候を言う練習 2) 時間を言う練習 3) 形式上の主語ilを使うその他の表現	A B C D
第11回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(3) 1) スキットについての質問に答える 2) 天候について会話する 3) 書き取り練習	A B C D
第12回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(4) 1) 方角 2) 新出単語の確認 3) 課題：フランス語でメールを書く	A B C D

第13回	1) 課題：フランス語でメールを書く(続き・提出) 2) フランス映画を見る	A B C D
第14回	1) フランス映画を見る(続き) 2) 復習と試験対策(1)	A B C D
第15回	復習と試験対策(2)	A
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590035006	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2P1・2P2_2F1 ~ 2F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call12)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2P1・2P2_2F1?2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	上記E-mailアドレスで連絡・質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるというコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。具体的には 1) 動詞の過去時制を学んで、過去の行為や経験を表現できるようになります。 2) 「だれ」「なに」の疑問代名詞を使った質問をし、答えられるようになります。 3) 使用頻度の高い不規則動詞の活用を覚え、それらを使った文が作れるようになります。 4) 時間や天候などの日常生活に密着した表現が使えるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go (自己学習) 15% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	語彙リストにある新出単語の意味と発音調べる。 練習問題の予習をする。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書「パラレル1」(白水社) 仏和辞典か電子辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「富士山は見ましたか？」(1) 1) スキットを読む 2) 複合過去 (...した) を知る 3) 過去分詞の形	A B C
第2回	「富士山は見ましたか？」(2) 1) 動詞を複合過去に活用させる練習 2) スキットについての質問に答える 3) 複合過去の文にする練習	A B C D
第3回	「富士山は見ましたか？」(3) 1) 過去の時間表現を覚える 2) 書き取り練習 3) 練習問題を解く	A B C D
第4回	「富士山は見ましたか？」(4) 1) 新出単語の確認 2) 複合過去を使ってペアでスキットを作る 3) 文化：フランス人と仕事	A B C D
第5回	復習テスト 「誰をさがしているのですか？」(1) 1) スキットを読む 2) 「・・・してくれませんか」(依頼)の表現 3) 「誰」「何」の疑問文	A B C D
第6回	「誰をさがしているのですか？」(2) 1) スキットについての質問に答える 2) 不規則動詞entendre(聞こえる)、attendre(待つ)、perdre(失う)、rendre(返す)、r?pondre(答える)の活用	A B C D
第7回	「誰をさがしているのですか？」(3) 1) 不規則動詞 dire(言う)、?crire(書く)、lire(読む)の活用 2) 書き取り練習 3) 練習問題を解く	A B C D
第8回	「誰をさがしているのですか？」(4) 1) 新出単語の確認 2) シャンソン Au claire de la luneを歌う 3) 文化：アペリティフ(食前酒)	A B C D
第9回	復習テスト 「日本では雪はたくさん降りますか？」(1) 1) スキットを読む 2) 不規則動詞 devoir (...しなければならない) 活用 3) 天候と時間の表し方	A B C D
第10回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(2) 1) 各地の天候を言う練習 2) 時間を言う練習 3) 形式上の主語ilを使うその他の表現	A B C D
第11回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(3) 1) スキットについての質問に答える 2) 天候について会話する 3) 書き取り練習	A B C D
第12回	「日本では雪はたくさん降りますか？」(4) 1) 方角 2) 新出単語の確認 3) 課題：フランス語でメールを書く	A B C D

第13回	1) 課題：フランス語でメールを書く(続き・提出) 2) フランス映画を見る	A B C D
第14回	1) フランス映画を見る(続き) 2) 復習と試験対策(1)	A B C D
第15回	復習と試験対策(2)	A
第16回	定期試験	A